

# 04年駅伝プレイバツリ

## 最終区で逆転許すも存在感示す2位



逆転負けに悔しさを滲ませる佐藤=出雲ドームで

10月11日、第16回出雲駅伝が行われた。学生三大駅伝制覇を目指す駒大にとって譲れない試合である。快晴の下、22チームのランナーが出雲大社前をスタートした。慌しくトップが入れ替わる中、主将田中、ルーキー鈴木が奮起し、序盤で3位の好位置につけた。中盤の要、3区塩川がロングスパートで首位争いをしていた日大東海大を引き離し主導権を握る。4区では本宮が力走で日大とのリードを広げ、5区大坪もトップを守りアンカー佐藤を導いた。数々の逆転劇が残る出雲駅伝。この大会も例外ではなかった。連覇を狙う日大のアンカーは驚異的なスピードを持つサイモン。20秒の貯金は決して十分と言えるものではなかった。

佐藤は追いつかれてからサイモンのスピードに対応できず後退。しかし中大高橋の猛追を粘りの走りでもかわし、2位でゴールした。2年連続最終区での逆転負けを喫したものの、3区から首位を堅持したレース展開は価値あるレースだった。

## 1区から首位譲らず完全優勝



劇的レースを笑顔で締めくくった塩川=伊勢神宮で

11月7日、第36回全日本大学駅伝の火蓋が切られた。前回大会でまさかの4位に敗れた駒大は、雪辱を晴らすべく上級生のみで最強布陣で臨んだ。1区佐藤は残り4kmで1人集団を飛び出し、早くもトップに立った。2区には各校期待のルーキーが集結したが齊藤は意地の力走を見せ、レース序盤で勢いに乗った。3区本宮は危なげなく4区田中につなぐ。すると田中が区間記録に迫る快走で優勝を決定づけ、最終学年にして学生駅伝初出場の柴田、6区村上も区間賞を獲得。中盤の連続区間賞でライバルを突き放した。終盤も駒大の武器である厚い選手層が発揮され、7区糟谷、アンカー塩川がトップを悠々とひた走る。圧倒的な強さを見せつけ歓喜のゴールを迎えた。1区から首位を譲らない完全優勝は大会史上3度目となる偉業だ。出雲での悔しさを晴らし、箱根駅伝に向けて自信を深めた大会となった。

(杉山 美紀)

## 7区で逆転！史上5校目V4達成



偉業達成の喜びを噛み締めゴールする柴田=大手町で

正月恒例の第81回箱根駅伝が1月2、3日に行われた。四連覇を目指す駒大は1区太田、2区佐藤は流れを作れず苦戦する。しかし3区井手が果敢な走りでも5位に浮上。4区田中は2位日大との差を6秒まで縮め2年連続区間賞の走りで5区村上につなぐ。村上らは日大をかわして首位を独走する東海大を猛追。あと1歩まで追い込むが往路2位で「トル」復路に希望を託した。

6区藤山は終盤に差を締めつけ、7区糟谷は快調な走りでも東海大を捕らえ、8区過ぎにペースアップ。ついに首位を奪い、後続を引き離した。8区ではルーキー藤井が差を詰められるも首位を死守。すると、9区塩川が区間記録をマークする快走で優勝を確実なものにした。

アンカー柴田に襷が渡ったときには2位日大との差は2分差まで広がり、安定した走りでも「ピクト」ロードを突き進む。王者の賞禄を見せつけ、史上5校目の四連覇で04年シーズンは幕を閉じた。

(小室 真梨子)